

8 納税組合が看板づくりにとりくんだ事例

別海町上風連開南

開南営農納税組合（12戸）は、地域の連帯を目的にして親睦活動を主に続けてきました。

今年は数年前より出されていた「なにか残る活動をしよう」という意見について話し合いがなされ、そこで「最近農村景観が言われている、できることから手がけてはどうか」それなら「誰からも分かる農場看板をつくろう」……全員賛成、ということで決まりました。

早速、会館前にテントを張り、厚岸町から購入してきたオンコの板にかんなをかける作業を全員で行いました。農場名、キャチフレーズを標語にして、文字のデザイン、配色をそれぞれが考え、板への書き込みは町内の看板屋に依頼しました。費用は1枚、1万数千円です。

掲げられた看板はオンコの木肌と文字の色彩がマッチし、文字がたいへん引き立っています。そもそも看板は、所在や商品の宣伝、交通安全のような呼びかけ、行事案内などを目的に設置されます。つまり、農場名だけで看板の目的は果たされていると思われます。しかし、今回つくられた看板には奥さんの名前や「標語」が書かれているものがあり、標語には「目指す酪農像」「地域の発展」への思いが語られています。



写真13 瀬下雅人さん

「ん」が抜けていますが、前の道路を通る方にわが家の牛乳を味わってもらいたいと思います。

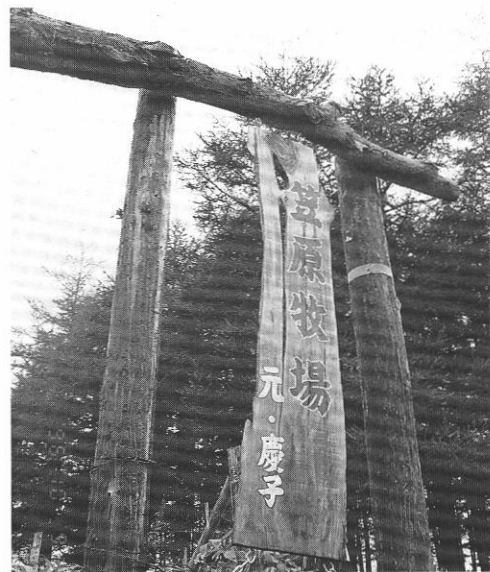


写真14 笠原 元さん

みんなが横書きなので、わたしは縦書きにしました。



写真15 瀬下是智さん

自然王国開南

厳しい自然現象に立ち向い、酪農地帯を築き、今遊び心をもつ余裕もできた。

ここで元気な自然を楽しみ自然に対する感動や好奇心を引き起こし、この大地を盛り上げようではないか。



写真16 信田豊美さん

同じ名前のご親戚が近くにいますので、ちがいが分かるようにしました。



写真17 溝口 清さん

不透明な酪農情勢ですが、小さくても夢と希望を持ちましょう。



写真18 原井松純さん

セイ	シュウ	コウ	ノウ
聖	鋤	興	農

聖 … 尊いもの

鋤 … くわ、畑を耕す農具

興 … 事業をおこし盛んにする

農 … 農業

この地を開拓した父の好きなことばです。

納税組合が看板をつくる、たいへんめずらしい活動です。しかし「看板をつくろう」「全員賛成」とすんなり決まった訳ではなく「看板倒れになるからいやだ〜」「はずかしい」という思いもあったようです。それがあえて全員が看板づくりに取り組んだ背景には「看板を上げて農村をイメージアップしよう」という組合長の呼びかけがありました。ところが「物売りが迷わず来るようになった」「なぜ看板を立てたのかと再々聞かれる」という悩みらしきものがあったのです。しかし多くの人たちが訪れるようになると、農村の風景、景観の重要性が分かるようになったとのこと。

都市と農村の交流を盛んにして、若者に将来を託せる農村をつくるには、これまでとは違った住居や農場環境、そして農村の感覚をもつ必要があり、看板はそのきっかけとなっています。

9. 最近掲げた牧場看板あれこれ



写真19 出田 司さん (中春別)



写真20 藤原義輝さん (中春別)



写真21 柿本鶴雄さん (中春別)



写真22 売場利国さん (美原)



写真23 石立智康さん (中春別)



写真24 兼松 誠さん (中春別)



写真25 大野広吉さん (西春別)



写真26 林 武雄さん (中西別)

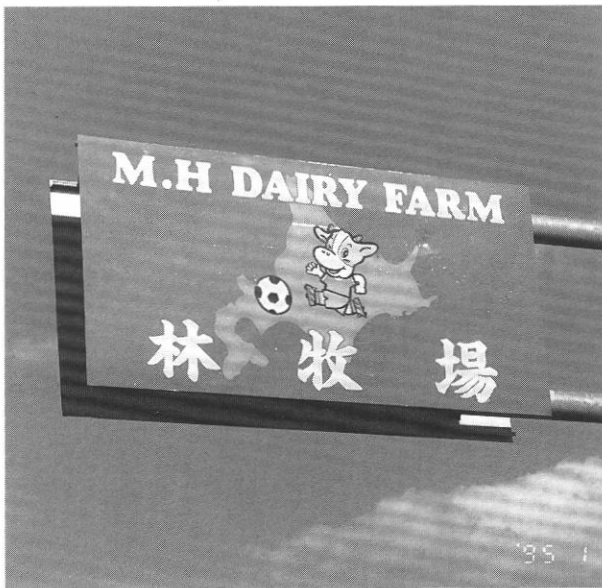


写真27 林 政隆さん (上春別)



写真28 沼倉広一さん (上春別)

